

# ～安心安全な漁協ブランド冷凍シジミの製造販売体制の構築～ 十三漁業協同組合（青森県五所川原市）

## 目詰まりの現状

十三漁協組合員は、その収入の大部分を占める十三湖産シジミの資源管理を徹底するなど経営安定のための努力を続けているが、5～10月は他地区のシジミ漁期と重なり、特に小サイズの浜値が下落する傾向にある。

一方、12月～3月の冬季は需要が多いものの、十三湖は結氷もあり、供給しづらい状況である。

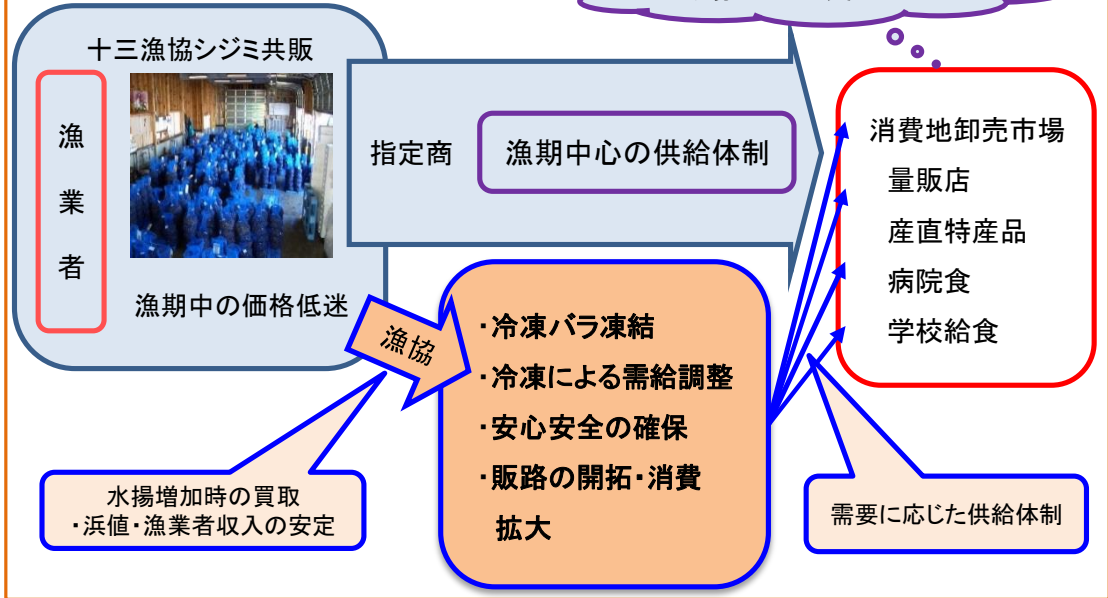
## プロジェクトの概要

- シジミを組合自ら買付ける。
- 組合女性部の協力を得て、冷凍加工・保管する。
- 需要が多い時期に安定供給する。
- 安心・安全な産直商品を提供するためX線検査装置及び金属探知機を導入する。
- 商品はトレサビリティ2次元バーコードとマリンエコラベルを貼付けた産直商品として、既存取引業者を通じて量販店等の販売先を確保する。
- 加工能力の増強、需要期販売に対応するため、冷凍庫等を導入する。

## 取組による成果

- バラ凍結技術を取得。
- 十三湖シジミの浜値が安定。
- 漁業者の安定収入。
- 量販店のほか、病院食等、新たな販路を確保。
- 需要が多い冬季にシジミを安定供給。

## プロジェクトフロー



## 安心安全を確保する検査ライン



## 冷凍による需給調整



## バラ凍結による冷凍シジミ商品



（平成26年12月現在）